

ほやはや

Fukui Red Cross Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.027



もっとクロス! 赤十字フェスティバルを開催しました

5月8日(金)～9日(土)、福井県の赤十字のことをもっと知るために、「結ぶきずな 地域とともに」を合言葉に、福井県支部、赤十字病院、血液センターの3施設合同で“もっとクロス赤十字フェスティバル”を開催しました。

当日は骨密度や体脂肪率、血管老化度の測定コーナーには長蛇の列ができ大盛況。測定結果とともに、看護師や管理栄養士が個々の健康相談に応じていきました。

さらに9日は災害医療をテーマに、市民公開講座や病院駐車場の特設ステージで様々なイベントを開催。よきこいの踊りやフラダンス、地元中学校の吹奏楽の演奏、漫才や落語など、ノワーあり笑いありのなごやかなステージが繰り広げられました。

今後とも、地域の皆さまとのきずなを大切にし、地域に根付いた赤十字病院となるように日々努力してまいります。

福井赤十字病院

理 念

人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。

基本方針

- 患者様の権利と尊厳を尊重し、相互理解に基づく医療を行います。
- 患者様に優しい医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上に努めます。
- 地域の保健・福祉・医療機関と連携を進めます。
- 救急医療を充実させ、地域の急性期医療を担います。
- 災害時に積極的な医療救援や救援活動を行います。



手術をしても、
キズは目立たない
かしら?



気になるあの手術の現状報告。 苦痛が少なく回復が 早い腹腔鏡手術。

技術と器機の進歩で胃がん、大腸がん、食道がんなど
対象疾患が拡大しています。虫垂炎や胆石では、
お膣の傷だけから手術をすることもできるようになりました。

傷跡が気にならない最新技術も採用！



ハイブリッドビジュализーションシステムを用いた手術風景。

腹腔鏡手術では、おなかに5ミリ×2センチくらいのちいさな穴を手術に応じて3個から5個開け、そこから内視鏡（カメラ）と細い手術器具をおなかの中に入れて手術をします。おなかの中には二酸化炭素ガスを注入してふくらませます（気腹）。

外科医は、テレビモニターに映った患者様のおなかの中を見ながら手術を行います。

腹腔鏡手術は通常手術より時間がかかり技術も必要としますが、そんな面倒な手術をするのは、

術後の患者さんの苦痛を少なくするためです（低侵襲）。傷が小さいので、痛みは少なく術後の安静期間も短く、早く食事も始められ早く退院もできます（早期離床）。

腹腔鏡手術の歴史は1987年の中の胆のう摘出の成功から始まり、以来20年間で周辺機器の進歩とともに急速に発展してきました。当院での手術室にも2008年9月にデジタルフルハイビジョンのシステムが導入され、さらに繊密で安全で精度の高い手術が可能になっています。胆のう摘出は内視鏡手術の方が一般的となりました。当科では胃がんに対する胃切除、大腸がんに対する大腸切除などがんに対して積極的に施行しています。また、食道がんに対しては、従来は開胸、開腹という大きな手術をしたため、身体に大きな負担をかけましたが、当科では、胸腔鏡手

術と腹腔鏡手術の組み合わせにするためです（ハイブリッド手術）。傷が小さく、身体に対して負担の少ない手術を施行しています。この手術により術後の回復は飛躍的に早くなりました。

また、胃や十二指腸潰瘍の穿孔、急性胆のう炎などの緊急手術でも腹腔鏡手術を行い、早期の社会復帰が可能になりました。最近では、胆のう摘出や虫垂炎（俗にいう盲腸）での虫垂切除のときには、傷をお膣からの一か所にすることが可能となり、まったく傷がわからないような美容に優れた手術も積極的に行っていきます。

腹腔鏡手術は従来の開腹手術に比べ高い技術が必要な手術であるので、手術ができるケースが限られることがありますので、詳細は外科外来へ相談ください。なお、私はこの手術の技術認定の資格を持ち執刀および指導にあたっています。



外科 部長
藤井 秀則

家庭での食中毒対策とは？

まず、丁寧な手洗いから始めましょう

食中毒防止 3つのポイント

- 1.つけない → 手洗い、新鮮な食材を使う
- 2.増やさない → 食材は冷蔵保存、調理後は早めに食べる
- 3.殺菌 → 十分な加熱、まな板・包丁の洗浄・消毒

正しい手の洗い方

- ①手を流水でぬらします。
- ②石鹼を手に取り、よく泡立てます。
- ③手指、手のひら、手の甲、指の間、指先をもみ洗いします(30秒)。指先は反対の手のひらの上で立ててこすり、爪の中の汚れも落としましょう。
- ④流水で十分洗い流します。(15秒／童謡『ぞうさん』は15秒の曲、目安にしてみましょう)
- ⑤清潔なタオルで拭きます。

夏は食中毒菌の活動が活発な季節です。レストラン、施設、弁当屋など大量調理での食中毒発生がよく報道されますが、実は家庭での食中毒が最も多いです。食中毒防止には、菌をつけない、増や

さない、殺菌することがポイントです。手洗いは食中毒と共にインフルエンザや風邪の予防にもつながります。特に帰宅後、トイレ後、調理前、食事を前に手洗いは重要です。正しい手洗いを身につけ、安全で健康な生活を送りましょう。

現在の主ながん治療は手術、放射線治療、抗がん剤治療（がん化学療法）などがあります。抗がん剤治療は、がんの治療、がんの症状を和らげたり、手術後の再発を防ぐために使われます。個人差はありますが、吐き気、だるさ、脱毛等の副作用をともないます。副作用による患者さまの精神的負担を少しでも

軽減できればと、病院ボランティアの方々が職員から提供のあつた新品のタオルで手づくりの帽子を作つておられます。帽子のこの希望やタオル提供の申し出など、詳細については本館2階医療社会事業課（内線5416）までお問い合わせ下さい。

患者さま用のタオル 帽子を作っています



「事故発生対応のシミュレーション」

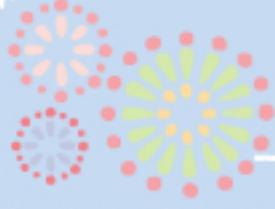
当院では医療の安全と質の向上を基本方針として、安全な医療の提供に努めています。しかしどんなに注意していても交通事故に遭遇する可能性があるのと同様に、病院内においても事故発生の危険性は“0”ではありません。もし院内で事故が発生したら、救命処置を最優先させ、適切に行えるように、「事故発生対応のシミュレーション」を平成18年度から行っています。今年も第1回目が7月1日に開催されました。医療事故防止に努める



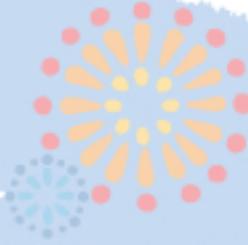
職員それぞれが役割を分担し、トレーニングを行っています。

ことはもちろんですが、もし事故が発生したらより適切な対応が出来るように職員一同トレーニングを重ねていきたいと考えております。





Topics



世界一周音楽の旅コンサートを開催しました

7月13日(月)に本館1階エントランスホールにて開催されました。今回のコンサートは「世界一周」と題して、イタリアのサンタルチアから始まり、フランス、ドイツ、アメリカと、中には原語の歌もあり、世界各国の雰囲気を味わえました。また、日本の曲では一緒に歌ったりと、梅雨のジメジメとした季節を取り除くような爽やかな一体感のあるコンサートでした。



今後の予定

- 第1回まちかどふれあいハーモニー／事・三絃による演奏
8月20日(木)13:30～(エントランスホール)
- ピアノコンサート
9月11日(金)13:30～(エントランスホール)
- 二胡コンサート
10月開催予定 13:30～(エントランスホール)

栄養課 おすすめ!

夏のレシピ ゴーヤーと豚しゃぶの おかずサラダ

①ゴーヤーは縱半分に切り、スプーンで種とわたを取って斜めに薄切りにし、赤ピーマンと黄ピーマンは拍子切りにする。②らっきょう甘酢漬けをみじん切りにし酢、醤油、らっきょうの甘酢汁を混ぜてドレッシングを作る。③ゴーヤーを15秒ゆでて、氷水につけて一気にさし、ざるに上げる。④軽けて豚肉を1枚ずつ薄で、色が変わったら引き上げ冷ます。⑤みょうがは斜め薄切りにして水にさらす。⑥のピーマンと③④を混ぜ合わせ器に盛り、⑦のドレッシングをかけ、みょうがを上にのせる。

夏バテ予防にはエネルギーや老廃物の代謝にかかるビタミンB群を一日3回の食事でしっかりと補給しましょう。ビタミンB1はアリシンの多い、にんにく、にら、たまねぎ、らっきょうなどと一緒に調理すると、体内での利用効率が高まります。



材料(3人分)／
ゴーヤー 小1本(約200g)、
豚しゃぶしゃぶ用肉 200g、
赤ピーマン1/2個、黄ピーマン1/2個、みょうが 適量、
ドレッシング(らっきょう甘酢漬け20g、酢 大さじ1 1/2、
サラダ油 大さじ2、醤油 大さじ1 1/2、らっきょうの
甘酢汁 大さじ1)

●1人分

エネルギー……138Kcal
たんぱく質……18.6g
ビタミンB1……0.82mg
ビタミンB2……0.27mg
ビタミンC……102mg

キャリア開発ラダー認定者認定書授与式が行われました

7月14日(火)に平成20年度キャリア開発ラダー認定者認定書授与式が行われました。当院では、看護部の理念に基づいた看護の質の向上と専門職としての看護師の職務満足度促進を目的として、キャリア開発ラダーを導入しており今回新たに36名が認定を受けました。

今後とも患者さまのために、専門能力の向上、赤十字看護師としての活動力向上、看護の質の向上に努めてまいります。



福井赤十字病院

〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代)
FAX.0776-36-4133
E-mail
webmaster@fukui-med.jrc.or.jp
<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

ほやはや

「ほやはや」と納得できる情報、できたて「ほやはや」の情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎回その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。